

紀伊半島ツキノワグマ広域保護管理協議会 有識者部会運営業務 仕様書

1 業務の目的

紀伊半島ツキノワグマ広域保護管理協議会（以下「協議会」という。）が、三重県、奈良県、和歌山県（以下「3県」という。）が属する紀伊半島地域個体群の捕獲されたツキノワグマ個体の動態や被害状況等のモニタリングデータを共有し、共通した手法により地域個体群での生息状況を把握することによって、3県が緊密な連携を図りながらツキノワグマの広域での保護管理に資する紀伊半島ツキノワグマ広域保護管理指針（以下「指針」という。）を作成する。本仕様書は、指針に基づき行う地域個体群の個体数推定手法等の評価業務を行う有識者部会の運営を委託することを目的とする。

2 対象地域

三重県、奈良県、和歌山県

3 業務委託の期間

契約の日から令和8年3月31日まで

4 業務委託の内容

（1）地域個体群の個体数推定手法等の評価のための有識者部会の運営

指針に基づき行う地域個体群の個体数推定手法等の評価業務を行う有識者部会の運営を協議会事務局の指示に従って行う。

- ① 有識者部会開催のための資料の作成、印刷（必要に応じてカラー印刷とする。）、各委員への送付及び議事録の作成その他会議の運営を行う。有識者部会開催時の司会は、協議会が行う。
- ② 有識者部会の開催前には、有識者部会の会長に対して、協議会が行う事前説明に同行する。
- ③ 有識者部会の部会開催、打ち合わせ等の日程調整を実施する。
- ④ 有識者部会の運営費（会議室準備、委員謝金、交通費（実費相当額）、印刷費（出席者数分）、会場借上費）は、受注者の負担とする。
- ⑤ 有識者部会の開催は原則として対面とするが、委員の都合により成しがたい場合には、ウェブでの開催も認める。
- ⑥ 有識者部会の委員は4名、想定開催数は1回、開催予定時期は3月中～下旬とする。
- ⑦ 有識者部会の委員の選任は協議会が行う。
- ⑧ 協議会の意思が反映できるよう、随時打合せ、相談の機会を持つこと

5 成果品の納品

本業務は、電子納品対象業務とする。電子納品とは、調査、設計等の各業務段階の最終成果を電子データで納品することをいい、電子データとは、ファイル形式等を発注者との協議により決定し、

それに基づき作成されたものを指す。また、業務の成果品は、次のとおりとする。

- (1) 業務報告書：1部（簡易製本：A4版（A3版は折り込み））
- (2) (1)の電子媒体：1枚（CD-R又はDVD-R：加工可能な元ファイルとPDF形式）
- (3) 原図：一式

6 その他

- (1) 特記仕様書に明示なき事項、並びに疑義が生じた場合は、発注者と受注者の協議の上、発注者の指示に従うものとする。
- (2) 業務に伴う必要な経費は、本仕様書に明記のないものであっても、原則として受注者の負担とする。
- (3) 有識者部会の開催日に変更等なるなどした場合は、発注者と受注者の協議の上、開催日等を変更できる。
- (4) 3県ホームページに公開されている「奈良県ツキノワグマ保護管理計画」等、3県各県の方針を十分把握しておくこと。
- (5) 業務実施体制について、配置予定技術者は発注者と密に連絡できる体制をとらなければならない。
- (6) 受注者は、協議会から提供された情報（文書、電磁的記録その他情報の形態を問わず、その複製物及び提供された情報をもとに作成された資料を含む。）及び業務上知り得た秘密を絶対に他人に漏らしてはならない。
- (7) 成果品及び作業工程において作成された資料等に対する一切の権利は、協議会に帰属する。また、これら成果品等の第三者への提供や内容の転載については、協議会の承諾を必要とする。
- (8) 成果品の提出場所は、協議会事務局（奈良県食農部農業水産振興課）とする。
- (9) 委託契約完了にかかわらず、成果品に誤りがあった場合は、受注者の責任において速やかにその誤りを訂正しなければならない。